

【特集】あの頃『くにたち』で…

「国立の大学町鳥瞰図」から 大学町を見てみよう

9月から図書館・郷土文化館・公民館連携連続講座「あの頃『くにたち』で…～大学町の成り立ちと駅舎～」がスタートします。それに先立ち、くにたち郷土文化館学芸員の中村さんに大学町の成り立ちの一端を解説してもらいました。くにたちの“あの頃”に想像の翼を広げてみませんか？

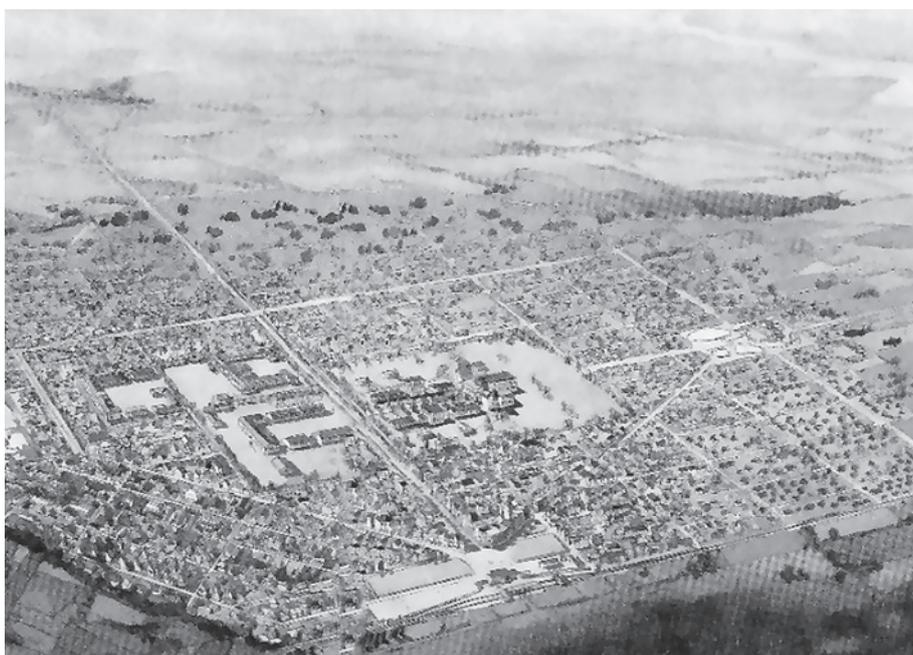
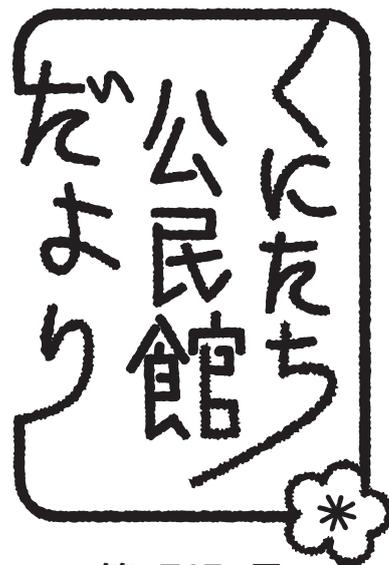


図1 「国立の大学町鳥瞰図」：くにたち郷土文化館所蔵



第 715 号

2019年 9月 5日

(令和元年)

「くにたち公民館だより」
ホームページの QR コード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

今月の公民館 (9月、10月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 12日(木) 夜 くにたちブッククラブ
城山三郎『辛酸』
- 14日(土) ～多文化共生事業
外国にルーツをもつ親と子どもの日本語
教育を考える
- 22日(日) 昼* シネボックス CINEVOX 公民館映画会
『東京物語』
- 22日(日) ～あの頃『くにたち』で…
- 28日(土) ～昼 院生講座
「中国・明代の喫茶文化」
- 10月4日(金) ～朝 母と娘のむずかしさ
- 5日(土) 昼 目で見て楽しむプログラミング体験
- 6日(日) 朝* 図書室のつどい「54字の物語」

上に掲載した図(図1)。既にご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、これは国立大学町を開発した箱根土地株式会社が配布した土地分譲案内にある「国立の大学町鳥瞰図」と題された図です。

この案内には「商大に縁故のある校友学生及其の関係者の方々に限定して特別待遇の分譲地地価の割引をする」と謳われています。で、東京商科大学(現一橋大学)の関係者へ送付するための案内であったとみられています。また、大正一四(一九二五)年一月一五日付の『二橋新聞』第二七号にこの鳥瞰図とほぼ同じ図(図2・次頁)が掲載されており、図1は

この時期ぐらいまでに描かれていたとみられるものです。なお、図1の鳥瞰図と同じ図の水彩画と、この鳥瞰図と同じ街並を眺める婦人を描いた油絵が、箱根土地株式会社の常務取締役などを歴任された中島陟氏の資料中に現存しています。

国立大学町の土地分譲案内は何種類か存在していますが、その中でもこの鳥瞰図のある案内が最初期のものと考えられています。

鳥瞰図には、「約三千坪の駅の広場からは一直線に廿四間の立派な大幹線道路と左右に二条の放射幹線道路が整然として最短距離でどこかの家にも行かれます」と説明

が付されており、現在の国立駅南口駅前広場や大学通り、富士見通りや旭通りといった主要な道路等のプランは概ね出来上がっていることが分かります。ただ、描かれた旭通り北東側の街区のパターンが現状と異なっている点にお気づきいただけるでしょうか。富士見通り北西側は現在と同じく南北方向に格子状となるパターンで描かれています。旭通り北東側は旭通りと並行するように各ブロック

が描かれており(図3)、その後に造成された南北方向に格子状となる街区のパターン(現在と同じパターン)とは異なっていることが分かります。さらに、説明文には「国分寺と立川駅の間なる大学町の新設駅を下車すると停車場も大学町らしい見るからに気持のよい建築」と述べられています。また、「国立」を冠した駅名や停車場名はまだ登場していません。描かれた駅舎も赤い屋根ではあるものの、その後

に竣工される三角屋根の駅舎とは趣が異なっています(図4)。この段階では駅名や駅舎デザインがまだ確定していない状況が窺われます。大学町の東西に目をやると、公園や遊園地のような施設が描かれているのが目に留まります(図5)。説明文からは「劇場、活動写真館」、「中央広場や公衆運動場」といった施設の建設が目論まれていたことが知られますが、大学町居住者に娯楽を供する施設をまちの東西に配する、そのような構想を描き

が異なっています(図4)。この段階では駅名や駅舎デザインがまだ確定していない状況が窺われます。大学町の東西に目をやると、公園や遊園地のような施設が描かれているのが目に留まります(図5)。説明文からは「劇場、活動写真館」、「中央広場や公衆運動場」といった施設の建設が目論まれていたことが知られますが、大学町居住者に娯楽を供する施設をまちの東西に配する、そのような構想を描き

込んだ可能性を考えたくありません。そして大学町中央にある東京商科大学を中心として、その他の学校施設を隣接して配したかのような描写も見逃せません。描かれた大学の校舎は、後に建設されるものと配置等が相違していますが、大学通りを挟んだ東西の大学用地は概ね決まっていることが見てとれます。その大学通り東側の大学用地の南に接するように建物群が東西に並んで描かれているのがお分かりになりますでしょうか(図6)。説明文では「商科大学のほかに中学校、女学校、小学校」の建設が記されていますので、大学に隣接してこれらの学校を配置する予定があったとも考えられます。この点は、大正一五(一九二六)年初め頃の分譲案内とみられる「国立大学町分譲地区割図」(図7)で、鳥瞰図と同じ場所が分譲

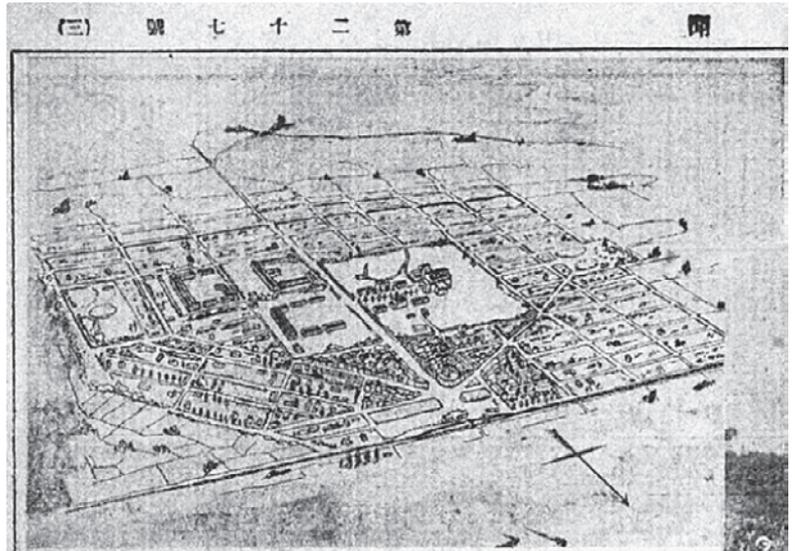


図2 「一橋新聞」第27号3面より抜粋
「本学を中心とする大学都市の想像鳥瞰図」
資料提供：一橋大学附属図書館

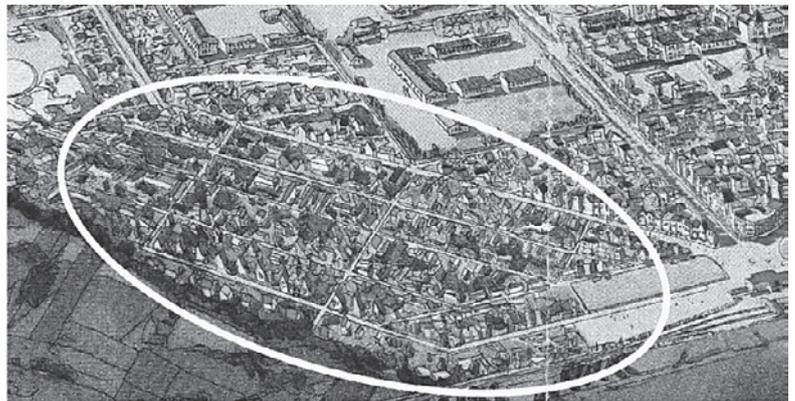


図3 旭通り北東部分の街区のパターン



図4 新設駅舎と駅前広場の部分

地以外の区画として確保されている様子がみられ、その説明文中で「大学町に於ては既に之れ等〔幼稚園・小学校・中学校・女学校・引用者〕の敷地は予定せられ商大教授各位が御世話下さる事になつて居ります」(傍線は引用者)と記されていることも符合してきます。初期の段階では学校関係施設の集約的な配置が考慮されていた、そんなことを考えさせられる描写です。

この鳥瞰図では駅周辺から大学等の教育施設にかけて、赤や緑、青色の屋根をした住宅とみられる建物が密集して描かれています。この描写には同じ箱根土地株式会社が分譲した目白文化村、そこで当時展開していた景色が念頭にあったのではないかと感じられるのです。文化住宅と称された様々な様式をまとった建築、時には「赤い屋根瓦が震災(関東大震災・引用者)前の象徴であれば、緑の銅板葺は震災後の屋根を表現したもの」(目白文化村の一住宅を見る)『主婦之友』大正一三年二月号)とも言われた瀟洒な洋風

の街並み、そんな住宅地を想定して描かれたものではないでしょうか。さらにこの描写からは、東京商科大学の国立移転を主導した佐野善作学長による「理想的の大学

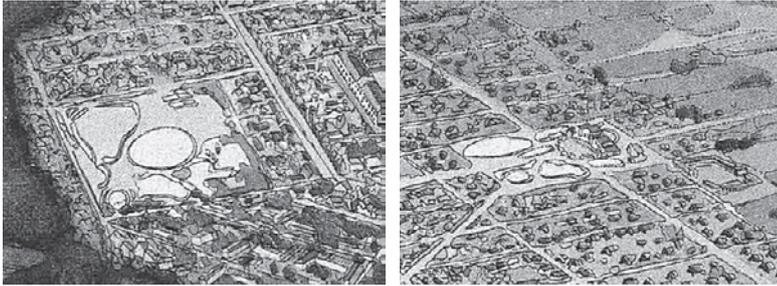


図5 大学町東西にある施設（左が東側、右が西側）

都市は理想的の高尚な住宅地に囲まれてこそ初めて実現せらるるのである」（『本学移転地の決定に際して』、『一橋新聞』第二七号）との言説が想起させられるところでもあります。

土地分譲案内に掲載された大学町鳥瞰図から国立のまちづくりの初期のプランをほんの少し覗いてみました。この鳥瞰図には東京商科大学との関係性など、まだまだお伝えしなければならぬ点があるのですが、残念ながら紙幅が尽

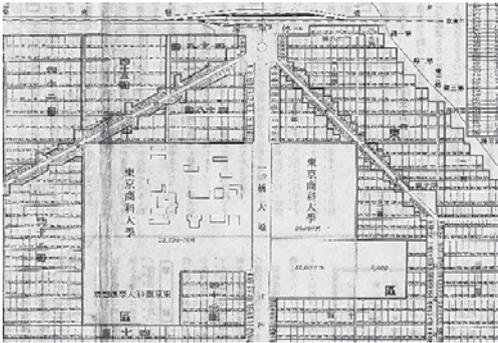


図7 「国立大学町分譲地区割図」：大正15年初め頃 くにたち郷土文化館所蔵



図6 東西に並んだ建物群（学校施設か）



きてしまいました。また講座で紹介できればと思いつつ筆を置きます。（文責：中村良和（くにたち郷土文化館））

〈図書館・郷土文化館・公民館連携 地域史講座〉

あの頃『くにたち』で… ～大学町の成り立ちと駅舎～（全6回）

わたしたちが暮らしている「くにたち」。ここは、どのような地域で、どんな歴史を歩んできたのでしょうか。

そもそも、くにたちの位置する多摩ってどんな地域なんだろう？中央線とくにたちの地形の深い関係って？大学通りに飛行機が飛んできた？……様々な視点からくにたちと大学町の成り立ちを紐解いていきましょう。

第1回 多摩1000年のあゆみをたどる
～「くにたち」をはぐくんだ土壌～

講師 石井 人也（一橋大学）
とき 9月22日（日）

第2回 多摩が経験した近代・現代
～「くにたち」は神奈川県だった!?～

講師 石井 人也（一橋大学）
とき 9月29日（日）

第3回 「くにたち」の開発・成長と駅舎建築

講師 中村 良和（くにたち郷土文化館）
とき 10月13日（日）

第4回 くにたちの地形からみる中央線の歴史
～甲武鉄道から中央線へ～

【第一部 講座】
講師 今尾 恵介（日本地図センター）
【第二部 フィールドワーク】
協力 国立まなびあるきの会
とき 10月27日（日）

※講座のあとフィールドワークを行います。
※フィールドワークは少雨決行。ただし荒天の際は中止。

持ち物等 歩きやすい服装、飲み物、筆記用具

第5回 大学通りを飛行機が飛ぶ!?

講師 中村 良和（くにたち郷土文化館）
とき 12月7日（土）

第6回 国立大学町にまつわる鉄道計画

講師 高橋 秀之（日野市立新選組のふるさと歴史館）
とき 12月14日（土）



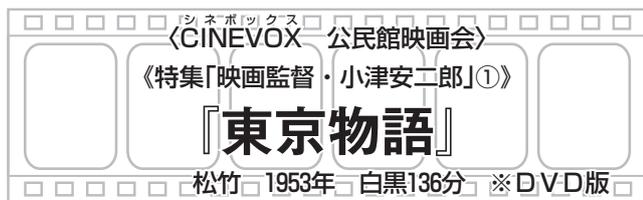
国立南口駅前広場：大正15年頃



国立大学町空撮：大正15年頃

くにたち郷土文化館所蔵

時間 昼2時～4時（第4回のみ朝9時～12時半頃）
場所 公民館 3階講座室
定員 30名（原則6回続けて参加できる方、申込先着順）
申込先 9月10日（火）朝9時～
公民館 ☎（572）5141



監督 小津安二郎
出演 笠智衆、東山千栄子、原節子、杉村春子、山村聡、三宅邦子、香川京子、東野英治郎、中村伸郎ほか

日本映画を代表する巨匠・小津安二郎の名作を2か月にわたって特集。

第1弾は『東京物語』。尾道から子供たちに会いに上京してきた老夫婦の姿を通して、時の流れによって訪れる家族の変容を穏やかな中にも厳しい筆致で描き上げた、まさに小津芸術の集大成ともいえる不朽の名作です。



とき 9月22日(日) 昼2時～(開場昼1時)
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈多文化共生事業〉

外国にルーツをもつ親と子どもの日本語教育を考える

入国管理法の改定により、今後日本で暮らす外国人は増えることが予想されます。そうした中、日本語を母語としない方が、言葉が通じないことによって地域から孤立してしまう事例は珍しくありません。特に言葉の壁を抱えながら学校生活を送らなければならない親子は大変です。今回は、外国につながりを持つ親と子の現状と課題を知り、私たちにどんなことができるのか考える機会としたいと思います。

◆総論篇：9月14日(土)
～地域に暮らす外国の方の子育てに必要な視点～

講師：志村 ゆかり
(関西学院大学・日本語教育センター)

◆経験談篇：9月28日(土)
～日本語を母語としない方の日本での子育てで経験～

講師：頼田 敦子(横浜市教育委員会 日本語講師)

◆発展篇：10月5日(土)、10月12日(土)
～地域でできることとは～

講師：頼田 敦子(横浜市教育委員会 日本語講師)

とき いずれも昼2時～4時
定員 25名(申込先着順)
*市内在住者・全回出席できる方優先
ところ 公民館 3階講座室
申込先 9月7日(土)朝9時～
公民館 ☎(572) 5141

〈図書室のつどい〉

54字の物語

短歌、俳句に次ぐ新文学の世界

お話し 氏田 雄介(企画作家)

9マス×6行の「正方形の原稿用紙」に収められた「54字の物語」は、短いからこそ「意味がわかるとゾクゾクする」究極の短編小説として、いまTwitterをはじめとするSNSで話題になっています。短歌や俳句に次ぐ新しい文学として、今の時代に合った作文の面白さがあり、実際に、授業で取り上げる高校もでてきています。今回は、その企画者である氏田さんをお招きして、その本の魅力をうかがい、実際に54字の作品を作ってみるミニワークショップも行います。

〈氏田さんの本〉

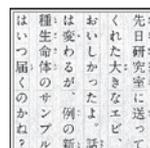
『意味がわかるとゾクゾクする超短編小説 54字の物語』(PHP研究所)ほか

とき 10月6日(日) 午前10時～12時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(当日先着順)

*申込は不要です。ご自由においでください。



〈くにたちブッククラブ 言葉に寄りそい時間を超えよ〉

城山三郎『辛酸』

(角川文庫)

講師 佐藤 泉(青山学院大学・日本近代文学)

とき 9月12日(木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎(572) 5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

『パラスポーツ講座』(大会出場者募集)

ゴールボールの交流大会

(初心者向け)に出てみよう!!

ゴールボールはしょうがいのある人もない人も楽しめるスポーツです。初めての方でも、大会までに体験講座がありますので、ご興味のある方はご参加ください。

試合に勝つことが目的でなく、目標に向かってお互い支え合って取り組み、楽しむことを目指して出場します。

コーディネーター 川田 幸生(一橋大学大学院)

とき 11月17日(日) 朝9時半～夕5時

(試合終了次第、解散。試合時間20分×最大2試合)

ところ 新宿区立新宿中学校 体育館

定員 16名(申込先着順)

(2チーム：1チーム8名程度)

出場形式 前半・後半2部制で、交代で出場予定

体験講座：①10月19日(土)、②11月16日(土)

申込先 9月17日(火)朝9時～10月25日(金)

公民館 ☎(572) 5141



母と娘のむずかしさ ～20～30代・子育て世代の女性に向けて～

講師 ^{おおみか} 大美賀 直子 (メンタルケア・コンサルタント、
公認心理師、精神保健福祉士)

母と娘。同性であるがゆえに心理的な距離が近く、だからこそ何だか少し難しい、と感じていませんか？

「母娘関係が密着しすぎて息苦しい、離れすぎてさびしい」「母の期待は嬉しいけれどプレッシャーも感じてしまう」「私の子育てをもっと母に認めてほしい」「母となった自分が子どもとどんな関係性をつくっていきけるか心配」「娘に対して、息子にはない特別な感情がある」……想いや悩みは人それぞれ。母として娘として、母娘(おやこ)関係の構造を学び、家庭の中で今起きている現象を振り返ってみましょう。“ほどよい”家族関係を築くきっかけになればと思います。

※20～30代の女性・幼いお子さんを
子育て中の女性対象の講座です。



とき 10月4、11、18日(全3回)
いずれも金曜日 午前10時～12時
ところ 公民館 3階講座室
定員 女性20名(申込先着順)
申込先 9月12日(木)朝9時～
公民館☎(572)5141

〈若者対象・青年講座〉 しょうがいのある人も一緒に学ぼう 目で見て楽しむプログラミング体験

パソコンで絵を描き、それを動かして楽しむプログラミング体験。第一回目では簡単な顔を描いて、その形を徐々に動かすというプログラムを行いました。いろいろな表情や動きがあり、楽しい時間になりました。他のプログラミング言語の入門にもなります。もちろん二回目からでも参加できますので、ぜひ奮ってお申し込み下さい。

講師 ^{ただし} 宇佐美 理 (青年室スタッフ)

とき 10月5日(土) 昼2時～4時
ところ 公民館 1階青年室
対象 しょうがいのある方と一緒に活動することに関心のある高校生から40歳くらいまでの方



身体・精神・発達のいずれかのしょうがいのある方の参加大歓迎です(後日面談をする場合があります)。

備品 ノートPCをご準備ください。

借用したい方はご相談ください。

定員 5名(申込多数時抽選)

申込先 9月17日(火)朝9時～

公民館☎(572)5141



「顔を描いて、動かしました！」

*公民館では、青年室や「喫茶わいがや」など様々な活動にボランティアの青年が関わっています。「青年講座」は、そんな若者が企画した講座です。

〈院生講座〉 中国・明代の喫茶文化 ～水と文人の隠逸思想～

講師 ^{ちよう じょうかん} 張 茹涵 (一橋大学大学院生*)

おいしいお茶を淹れようとしたらみなさんは何に気がつかうでしょう。茶葉?器?それとも気のおけない友人?16世紀の中国では、ポイントは「水」でした。当代随一の文人・文徵明と仲間たちは、名高い湧水「惠山泉」をはるばる訪れ、その探訪の感慨を詩文や絵画に残しました。

一杯の茶のために名水を求めるのは、当時一流の「教養」の形をも体現するものでした。講座前編では、水と茶に傾倒しながら深い教養を示した文徵明の詩画と、その隠逸の思想についてお話しします。後編は文人の隠逸思想を込めた水の論述をひもときながら、実際に台湾茶芸も披露します。

とき 9月28日、10月12日(全2回)
いずれも土曜日、昼2時～4時
ところ 公民館 3階集会室
定員 25名(申込先着順)
申込先 9月12日(木)朝9時～
公民館☎(572)5141



*一橋大学大学院生による講座

国立市内の一橋大学では、研究者を目指す大学院生が日夜研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を企画しました。最新の研究動向に触れるもよし! 修行中の院生にアドバイスするもよし! 院生が講師となって専門分野をご紹介します。

〈社会体育事業〉 「街を・山を歩く」第2回

日時 10月17日(木)〈雨天中止〉
集合 谷保駅北口 朝9時
実施方面 町田市薬師池公園方面
(距離:約9キロ 高低差あり)

対象 市内在住、在勤者
※行程はウォーキング初心者向けです。

チラシ 9月19日(木)から市役所3階生涯学習課、市民総合体育館、公民館、北・南市民プラザ、くにたち・こくぶんじ市民プラザで配布します。
※コースの概要は国立市役所HPでも確認できます。(9月19日から10月17日まで)
詳しくは配布チラシを確認してください。



「街を・山を歩く」のホームページのQRコード

申し込み方法 チラシの内容(日程、コース、申込方法等)を確認のうえ、9月19日(木)から10月4日(金)の期間に下記までお申し込みください。

申込・問合せ 教育委員会 生涯学習課
社会体育担当☎(576)2107(直通)

公民館の会場予約のご案内

—会場調整会—

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、会場調整の場を設けています。会場調整会に参加する場合は事前の申し込みが必要なので、下記の手順をご確認ください。なお、会場調整会に参加しなかった場合も、空いている時間帯やお部屋は公民館の窓口でお取りすることができます。

1 「公民館会場等使用調整会参加申込書」の提出

公民館1階入口正面にある会場別ポストに参加申込書を投入する。

ポスト投入期限は、毎月、調整会直前の木曜日です。



申込書は、入口正面にあるポストに投入してください。

2 会場調整会への参加

会場調整会は、毎月第一土曜日（祝日の場合は翌日の日曜日またはあらかじめ公民館が指定する日）午前10時～、地下ホールにて開催しています。

使用希望が重なっているときはお互いに話し合い、調整を行います。

重なっているグループが調整会に参加しなかった場合は、使用希望は取り消しとなります。

3 本申込による予約の確定

調整の結果は仮予約です。調整会の会場で本申込ができます。

本申込は会場調整会から10日以内に行ってください。10日を過ぎると仮予約は無効になります。

*詳細や不明な点は、公民館までお問い合わせください。

*会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力によって実施しています。

4 会場調整会後の予約方法

会場調整会に参加しなくても、調整会当日の午後2時から、2階事務室で空いている会場の予約を受付けます。

また、電話での仮予約は午後3時から受付けています。

■今後の会場調整会日程

使用希望月	ロビー使用希望月	申込書のポスト投入期間	会場調整会
11月	12月	9月7日(土)～10月3日(木)	10月5日(土) 午前10時
12月	1月	10月5日(土)～10月31日(木)	11月2日(土) 午前10時
1月	2月	11月2日(土)～12月5日(木)	12月7日(土) 午前10時
2月	3月	12月7日(土)～12月26日(木)※	1月4日(土) 午前10時
3月	4月	1月4日(土)～1月30日(木)	2月1日(土) 午前10時
4月	5月	2月1日(土)～3月5日(木)	3月7日(土) 午前10時

※2月分(ロビーは3月分)については、年末年始の関係でポスト投入期間が一週間早まっています。ご注意ください。

会場を利用されている団体・サークル等の中から、調整会のお手伝いができる方を募集しています。(個人でのお手伝いでも構いません)

お手伝いいただく作業は調整会当日朝9時に来ていただいて会場の申込書と表の読み合わせや、申込みの重なりのある個所の読み上げなどです。(年1回程度です。)ご協力いただける方は公民館2階受付、または調整会の受付にてお声がけください。～会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力によって実施しています～

公民館のQ & A

このコーナーでは公民館について一問一答形式で紹介していきます。
今回は公民館の「印刷機の利用」についてです。

Q どのような人が利用できますか？

A 国立市内を拠点として、社会教育活動を行う団体やサークル等です
※個人での利用はできません。

Q 印刷をするための手続きや利用時間を教えてください。

A 印刷機を利用する際は2階受付窓口で「使用申請書」を提出してから、印刷することができます。
利用時間は休館日(月曜日)及び年末年始、臨時休館日を除く火曜日から日曜日の午前9時から午後10時までです。

Q 印刷できるのはどのようなものですか？

A 印刷できるのは社会教育活動のための配布資料やチラシ広報物等です。営利目的の塾や教室、特定の政党や宗教を支持・支援する活動等に関する資料の印刷はできません。
また著作権法に抵触する資料の印刷もできません。
印刷できる大きさは葉書からA3サイズの範囲のもので、印刷色は黒になります。
印刷用の紙はご持参ください。

Q 印刷できる枚数に制限はありますか？

A 一度に印刷できる枚数は2,000枚(両面印刷の場合

は1,000枚)までです。

※2,000枚以上印刷したい場合は一旦清算し、次に印刷利用のグループが待っていない場合のみ、引き続き利用することができます。

Q 利用料金がどのくらいかかりますか？

A 実費相当分をお支払いいただきます。
原稿1枚につき32.8円 印刷1枚につき0.4円かかります。(令和元年9月1日現在)
※利用料金を現金でお支払いできるのは、午前9時から午後5時までの間に印刷が終了した利用分です。夜間(午後5時から午後10時まで)や祝日にご利用の際は、当日の現金支払いができません。発行する納付書で掲載してある金融機関にてお支払いいただくか、翌日以降の午前9時から午後5時(休館日・祝日を除く)までの間に公民館2階受付窓口でお支払いいただけます。

Q 印刷機利用の予約はできますか？

A 印刷機を予約してのご利用はできません。
使用している団体がある場合はお待ちいただくこととなります。また、資料作成などの作業以外のご利用はできません。
初めての方は職員が印刷機等の使用方法を説明しますので祝日を除く午前9時から午後5時までの間にご利用ください。

公民館運営審議会報告

8月13日(火) 第32期第10回定例会を開催。委員11名、館長、職員2名が出席。傍聴9名。

報告事項

- 公民館だより編集研究委員会 講演要旨は良かったとの評価。
- 東京都公民館連絡協議会 開催がないため、報告事項なし。
- 社会教育学習会検討委員 引き続き学習会を検討中。

協議事項

- 各委員の所属団体の活動報告等
 - 今村委員：高齢者の団体選出。地域での仲間作り等の活動を実施。
 - 隈井委員：学習・文化活動の団体選出。ボランティアで講師を担当。
 - 山根委員：公民館利用団体選出。書道や話し方勉強会等に所属。
 - 鶴田委員：子ども支援・子育て交流の団体選出。子どもたちに生の劇に触れる活動を実施。
 - 龍野委員：学習活動の団体選出。戦争に係る講演会等を実施。
 - 高野委員：産業・商工を含む地域活動団体選出。天中市を主催。
 - 末光委員：青年を中心とした団体選出。青年室活動に関わる。
 - 深川委員：市民生活・福祉活動の団体選出。地域で催しものを開催。
 - 池田委員：交流・親睦活動の団体選出。日本語の勉強をサポート。
 - 三好委員長：家庭教育の向上に資する者。様々な活動等に関わる。
 - 大串委員：学識経験者。座間市ほか2市の公民館活動等に参加。
- 次回定例会は9月10日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(深川)

ひろば

(8ページにもあります)



駅前通りで見つけました
久保百合子さん(富士見台)

くにたち童謡愛唱会

子供の頃や学生時代に口づさんだ懐かしい日本の歌・世界の歌をピアノ伴奏で歌っています。一緒に歌って楽しみませんか。見学にお越し下さい。問合せ夕5時。

日時 第1・3水曜日 朝10時

場所 北市民プラザ

連絡先 舟山(575) 8919

サンメイト 会員募集

ダンスは脳を活性化させストレスを解消する働きがあります。ダンスを通して若返りを図り、人生に彩を添えましょう。まずは、練習風景をご覧ください。

日時 毎週月曜日 昼3時

場所 総合体育館 3階

連絡先 寺島(575) 7046

ひろば

(7ページにもあります)



タイルアートでなべ敷作ろう!

講師は国立市を拠点に活動するタイルクラフト歴22年の伊東亜由さん。15×15cmのなべ敷を作りま
す。参加費1400円。持物エプ
ロン・ハサミ 持ち帰り袋。
日時 9月21日(土) 昼2時〜
場所 たまりば宙(谷保駅前)
連絡先 たまりば宙(83)0443

江戸庶民の暮らしを知る会

落語は江戸後期、富裕層や文化
人が面白おかしい話を持ち寄り披
露したサロンの集まりに始まる。
江戸風情を聞かせ現代も人気の
「落語」の魅力を探る(会費千円)
日時 9月21日(土) 夜7時〜
場所 公民館 中集会室
連絡先 中島(80)6180

カラオケを楽しむ会の発表会

日頃、カラオケを楽しんでいる
仲間達が多数集まり、発表会を芸
小ホールで行います。お友達など
お誘い合わせの上、ご来場を出演
者一同心よりお待ちしております。
日時 10月4日(金) 朝11時〜
場所 芸術小ホール
連絡先 高橋(52)0806

ゲートボール初心者教室 無料

軽く振ったステックでボールが
はずむ。ゲート通過で続けて打て
る。運動靴で、ご参加下さい。
主催 国立市ゲートボール連盟
日時 10月10日(木)〜11月10日(日)週
二回木・日曜日 朝10時〜
場所 矢川上公園ゲートボール場
連絡先 鈴木(90)(102)3695

数学を楽しむ集い(九月期)

九月はパズルとその背後にある
数学の理論や、整数の不思議な性
質と成り立つ理由を御紹介します。
きっと数学を身近に感じていただ
けます。お気軽にお越し下さい。
日時 9月14日・28日(土)昼1時〜
場所 公民館 集会室
連絡先 山本(52)1028

公民館の外壁工事を 実施しています

公民館は、1月15日までの
工期で実施しています。大き
な音が出る工事は、11月末頃
までを予定しています(とく
に9月は大きな音が出ること
が予想されます)。工事の時
間は、日曜日を除く平日及び
土曜日、祝日の午前8時から
午後6時です。
工事期間中の施設利用に際
して、駐輪場の使用等が不可
となり、(11月末頃までを予定)とな
っており、工事音や振動が生
じています。公民館の各部屋
はご利用いただけますが、会
議・講演会等で静かな環境を
希望される場合は、他の施設
での実施をご検討ください。
ご利用の皆様にはご不便を
お掛けいたしておりますが、
安心してご利用いただけます。
皆様のご理解、ご協力をお願
いいたします。
公民館(57)5141

「ひろば」 写真募集中

国立の風景や行事、自然な
どの写真を募集しています。
ご協力いただける
方は公民館までご
連絡ください。



〈サークル訪問335〉 国立カントービル

混声合唱のサークル「国立カン
タービル」。なんと水泳の「ドル
平の会」のメンバーが、「合唱も
やりたいね」と集まって設立した
という。やはり「ドル平」に所属
している青木啓子先生は発声当初
から指導、今年で9年目に入る。
40代から80代の20名ほどのメン
バーが先生の指導に合わせて発声
練習を始めると、部屋いっぱい
ツヤのある声があがった。声が若
い!「8年も続けていると、ど
んどん声が出るようになるん
ですよ」と先生。

先生が指導する他のコーラスダ
グループやピアノの教え子と合同で、
毎年4月に「さくらコンサート」
を芸小ホールで開催、6月には「
くにたち音楽祭」にも参加している。
前回歌ったザ・ピーナッツの「恋
のフーガ」と「恋のバカンス」を
披露してくれた。振り付きで楽し
さ全開、一緒に口ずさんでしまっ
た。その後の曲は原爆の悲惨さを
歌う「消えた八月」。先生は少し
重い内容かと思っただが、小
さい時に戦争を体験したメンバ
ーがいるからこそ、歌うことにした
という。
今回は男性メンバーから、「プ
ルー・シャトウ」や「シクラメン
のかほり」がリクエストされてい
るそうだ。その他にラテン語の歌
詞を歌う「青少年のためのアヴェ



だんだんハーモニーが形作られていく

・「マリア」などを練習中。
先生の歌声をなぞりながら、数
小節ずつ進み、だんだんハーモニ
ーが形作られていく。楽譜の読め
ない人はレコーダーに録音して、
散歩をしながら聴き、台所仕事を
しながら聴いて、練習している
という。
練習の合間も笑い声が絶えず、
練習後のお茶会もメンバーの活力
になっているようだ。
会費1カ月3千円、団員募集中。
日時 1・3金曜午後1時〜3時
場所 矢川集会所
連絡先 三浦(70)(584)8571
〈文・写真 西尾万樹〉